

【刊夕】日九月一



定部金一錢 郵費五錢 印刷費五錢
發行所 常新聲社 印刷所 常新聲社
電話 三六〇三 地址 石川縣長岡町
支店 石川縣長岡町 電話 三六〇三

一九三〇年の

磐城文壇を顧りみて

片寄歌 一一

歌壇に一味の新鮮味とア
デロを投げつけた人に新
妻久満夫氏が居る。磐城歌
壇に取りては大いに

反響性のある人だ。

素直で、安心な歌を見せて
くれる人に明石濱男氏が
ゐる。只野清、柏木哲、武
田美佐子、佐々木顯等の諸
氏がゐる。それから昨年最
も活躍を期待された人に宮
田青波、松村清の両氏がゐ
たが、殆んどその活躍を見
せてはくれなかつた。

新しい所では佐藤正實氏
が光つてゐる。その他印象
に残つた人達は水野冷子、
唐木登志、堀川八重子、木
野もと子、鈴木一葉、丹野
晴夫等の諸氏である。

それから最も記すべき事
は口語歌運動の擡頭である
現代語と短歌との交渉關係
に就いては多くの

議論がある様だ。し過
日の短歌會席上にもその論
議が二三あつた、然し口語
歌運動そのものは時代が生

産したインフルエンス的な
ものであつて、否認説を力
説するのは新時代の空氣を
知らぬもので、あまりに傳
統的形式に拘泥し過ぎてゐ
る。新時代の潑刺とした感
情や生活を現實の激しい心
臟の鼓動にまで詠出するの
が現代短歌の最大使命であ
る(白木氏)の通り、自己の
感情、ある物体意識を表示
する時

赤裸々にペンと直接
響くのは口語歌ばかりであ
る。この方面の研究において
特に白木英尾氏の努力は認
められなければならない。
相當ブライスのな理論的研
究を發表して建設運動に専
念してゐる事は非常に愉快
な事だ。運動が發達過程に
あるとは云へ殆ど未知數な
ため同志は極く少ない。

俳句に就ては、私は殆ん
ど云ふべき資料を持たない
異狀な發達過程を辿りつゝ
ある事は事實だ。

渡邊何鳴氏の主宰する
「洋生會」が一般的に多く知
られてゐる様だ。次ぎ次ぎ
とたゆまなき研究を續けて
おられる何鳴氏は將來にお
へて革命的(?)なものをもこ
の磐城俳壇に投げ與へる事
確しかだ。(つづく)

新年文藝選外

和歌 高久晚霞選

平 秋葉小路

彩雲のとばりに籠もる靈峰
の幽玄の姿折々とする

平 大津賀清吉

ほがらかに落葉ふみつつ下
り行く秋の眞晝の細き山道

平 きみ子

澄み渡る大空高く鶯舞ひぬ
愁ふ山路に春の日ゆたか

平 渡邊喜美

明けの空さ青くありて白雪
の山は美し若人の如し

中村 塚本香四郎

山並の幾うねりして長々と
雪の白妙初日にかがやく

平 村上松子

朝日うけし遠の白雲をびえ
立ち富士の高嶺にかたち似
てあり

平 石川春草

山枯れて炭焼く小屋にわび
しげにひとりほゝえむ幼児
ありし

美佐男御召と
優秀銘仙陳列特賣
三井呉服店

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)



嚴冬 征伏の王者
フクロクストーブは
一、最も安い石炭で最も良く燃えるストーブは
二、石炭商の立場より各種のストーブを嚴密試験の結果
始めて理想的フクロクストーブを見え出しました
御希望の方へカタログを持参して御説明申上ます何卒御下命を……
福島縣總代理店 阿部石炭商店
平 停車場前

造花 町川新平 橋本屋
祝賀……ニ
勝利……ニ
歓迎……ニ
送別……ニ
葬儀……ニ
生き……した
安
電話一六三番

毛糸……と編物用具は
ハシモトヤへ
優等百合印毛糸 高級霜降毛糸
優等中細毛糸 優等極細毛糸
ヌコツ子毛糸 英國製毛糸
平町田町 ハシモトヤ糸店

目下大流行の
ベビーカメラ
一金六拾錢也
附屬品付
平町一丁目
森下商店
難病ニ正シキ光線治療
天佑堂
治療時間 自午前八時 至午後九時
平町(末廣亭向ヒ)

好成績な

平税管内納税組合

今後も設立加入を奨励

平税務署管内には納税組合が四百四十一組(人員七千百廿一名)あり此外信用組合其他納税事務の取扱ひを爲し納税組合に準ずべき團體は二百七組(人員二千六百廿二名)及び設立町村は平町外卅二ヶ町村で管内納税資格者の約三分の一に當る由にて一般に成績が良好である處から今後此種組合の設立加入を奨励する事になつたと

雜種地の

拂下げ

三月下旬迄に 大体終了する

平税務署では管内の海岸雜種地を拂下可く過般來より實地調査中であつたが此程終了した爲め來る三月下旬迄には大体拂下終了の運びに至るものと見られて居るが調査結果によると雜種地は二百卅四町歩であるが實際の拂下げ坪は波打きおよび卅間を距てた場所である爲め半減せられる模様である尙ほ價格は一反歩五圓以上三百圓以下にて總額二萬圓に達する見込みであると

中堅農民講習

來月一日から

石城郡農會主催第三回郡下中堅農民養成講習會連續講習は左記日割で開催され修

前區長に感謝

第二區研町、古鍛冶町では過般退職した區長佐々木節次郎氏の功に對し金一封を添え感謝狀を贈つた

商友會新年宴

平町商友會の新年宴會は十一日午後六時から同町谷口樓において盛大に開催する由

大漁節も景氣よく

正月早々イワシの大群

石城郡濱通り沿岸では不景氣をこぼしてゐた處、正月早々の大群にぶつかり七日午後から石城郡江名濱を中心に附近一圓で揚げたり八貫入り八千柄約一千二百萬尾の大漁を見た、是がため同地方漁村では俄に活氣付き目指し、削り鱈、締粕肥料、干いし等の加工漁業に大漁節も景氣よく轉手古舞ひを演じてゐる

社告

新年文藝短歌入選者中左の二君は來る十一日まで住所氏名本社文藝部宛にお知らせを乞ふ
野邊 流行
末 知 路

平驛の

炭車配給會

遺憾なきを期す

俄に激増した常磐炭礦の送炭貨車の配給を圓滑に且適當な利便を計るための常磐線各驛長事務所打合せ會は既記の如く八日午前十時から岡本水戸運輸所長同川野車掌主任、麻植平、湯本

平武道初め

祝賀會を催す

既報平警察署武道初めは十日午前十一時から同署演武道に於て吉例の紅白試合あり、午後二時から住吉屋本店に武田三笠兩檢事、伏見町長、縣會議員、消防幹部日刊新聞記者を招待、祝賀會を催す由

平町人事

△出生
△南町四一 古川龜太郎氏長女トク子
△古鍛冶町一八 齋藤成氏三女美智子
△死 亡
△四軒町二三 水野茂(二七)

色魔の

柳田を捕縛する迄

- ▼ 本名 青木由五郎(前科三犯)
- ▼ 原籍 神奈川縣浦賀町
- ▼ 平地方にての偽名 柳田辰五郎
- ▼ 房總地方にての偽名 森本友三

根本毅一

僕達も遙々磐城クンダリから此所まで出張つて來た以上は、唯ボンヤリとして汽車に乗つては居ない。必ず各驛に於ては其乗り降りる物色し、自分達の乗つて居る列車の中を一渡り。萬一彼奴が乗つては居ないかと細心の注意を拂つて居た。殊に單線である故所々の驛々々に於ての交換列車のあつた場合は、こちらの窓から向ふの列車内と注意することと怠らなかつた。けれど

に居つたりな居つたりな彼奴柳田。大きな團體を襟付の外套に包み中折帽を冠り持つたが病の皮膚のセルロイドの眼鏡迄が平地方に於ける彼の姿そのまゝに左側の腰掛けに慨然とかまへ。幾分顔吾等の汽車にそむけて徐々として廻り登籠の切り抜き影の如く進むんで處くではないか。僕は思はず。

「アツ野郎居たぞ、向ふの汽車に居たぞ。あれッ見給へ……」
一つしよに來て下すつた與津駐在の岡野さんが
「ドレ、ウムそうだ。確かにさうだサア汽車を降りやう」
「降りませう……」
と殆んど四人りが半分飛ぶが如くに汽車を降りたが、時既におそくその汽車煤煙と共に輕轉たる響きを殘して構外遠く走つて居るではないか。

なんたるこぢやい。折角に彼奴の姿を認め乍ら手も足も出せず。き車は出て行く煙は殘る。煙が癢の種。全く全く癢に障つてしまつた。流星光底長蛇を逸した。ウム畜生……。
「年月尋ねるその人に。たまアアアア、逢ひはア、逢ひはア……」
オソトいけねえこんな所で道樂氣を出しちやア飛んだ朝顔日記も糞もあるものかサア追跡々々。驛前の乗り合自動車の一番生さの宜ささうな奴を物色した所幸ひにして最新仕入らしいシボ

レ一のセゲンがたが群雜中の一鶴の如くニスチンの音を立て、待つて居る。
「オーイその自動車持つて來いッ」
「與津まで幾らだい貸切りは。ナニ五圓五十錢だよしソ六圓やるから大至急やつて呉れ給ひ。一寸つと話しをして置くが今のき車で僕等が探ねて來た犯人が乗つて居たのだ。與津の彼奴の立寄場所を聞いて來たのだが多分今夜あたりは歸る頃なのだがと云つて居たからキットこのき車で與津へ行つたに違ひない。此の方は與津の警官だ。場合が場合なのだからいくらスピードを出したつて管はない。大馬力でやつて呉れ給ひ。サア出發!!!出掛ける……」



一手特約店 阿康藥舖
電話 四四四番

磐城土産
鯉節と
鹽から
配達敏速

魚問屋
最優最志
平賀四丁
大代目
日理盛
本店盛
命生榮
番三

内科・小兒科・花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町
電話五〇七番

山下代議士を迎へ 政友派の臨時總會 大いに氣勢を揚ぐ

石城郡政友部會にては既記の如く鈴木辰三郎氏の本縣支部幹事長就任祝賀及び同派縣議の慰勞會を兼ね來る十三日午後一時から有聲座に於て臨時總會を開く筈であるが當日は部會幹事長たりし鈴木氏の後任者を決定して會員の演說等ある外本部特派員たる代議士山下谷次氏を迎へ大いに氣勢を揚げ同氏の長時間に亘る時局問題に關する演說を傾聴する筈

政、民同數で 困つた組合

赤井村探める

石城郡赤井村大字赤井林野保護組合では舊臘中代議員の改選をなしたがその結果從來民政派の絶對多數が覆されて政、民同數となつた。民政派では狼狽し寄々對策を協議中であるが去月廿五日開いた新代議員會に於いて組合長及幹事の改選をなす筈であつたが同派の缺席により流會となつたまゝ未だに解決されず揉みぬいてゐる

勿來も 運轉を中心

軌道業不振
自動車網の發達と財界不況から本縣下に於ける軌道事

運轉を休止しゐるのは好間、日本兩軌道で辛うじて營業を繼續してゆく可能性あるのは耶麻軌道と福島電鐵の兩會社のみである

遺族に同情 赤井の生徒

石城郡赤井第二小學校生徒は福島炭礦瓦斯窒息遭難者遺族兒童に對し見舞金として一名二錢宛據金し贈る由

政民兩派が仲好く お手々つないで

古川、驚兩縣議の慰勞會

植田町は石城郡南の中心地で好況當時は豫想以上の羽振りを利用したものであるが町はいたつて小さく去年の國勢調査により郡下七ヶ町中人口で世帯數で最下位であつた、然るに現在こゝで約五丁とも離れぬ近所で古川、鷹の二縣議を出してゐるおそろく誰かが平和そのもの、様だらうと思像するが豈はからんや政黨の反目と來たら天下一品といつてもよい位、いつも縣會が

吹き廻しか突然兩派合流して同町山田屋旅館に慰勞の宴を催した最初の事である不況が生む珍現象といふべきか兎に角將來がもいふべきか喜んでゐる者が多い、三一年の新春と共に植田の政黨喧嘩も程よく緩和される瑞祥であらう

終了すると兩縣議の慰勞會を開くが猫の額同然の所で政と民が別々にやると知つたら一寸アツ氣にとられぬ譯には行かない、随分合流を望んだものであるが駄目だつたところが昨年暮はどうした風の

好轉す 俄に活況

濱三郡木炭同業組合のさる十二月の中における木炭検査俵數は石城七萬四千六百九十六俵、双葉五萬一千三百三十六俵、相馬二萬七千七百一十一俵、總計十五萬三千四百六十六俵である昨年同期は十二萬七千五百五十六俵で二萬五千九百九十六俵の激増を示してをり需要期に際し無検査ものも地方に販賣されてをりこれを加ふれば相當多額に昇り舊臘から本年初めに於て賣れ行きが好轉し山間部地方は舊正月を前にして俄に活況を呈してゐる

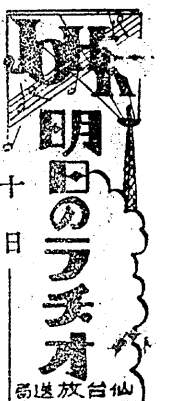
行路病者の死

郡旭村大字田澤生れ遠藤留吉(三)は去る五日から石城郡内郷村大字御厩字上の宿木賃宿中井武次方に投宿中病氣の爲め歩行困難となり同村役場にて行路病者として引取治療中昨日死亡した

男は技術方面 女は交換手に

平町職業紹介所の 性能試験の結果

石城郡平町職業紹介所で既記の如く昨年十一月二十一日から十二月十三日までに入込んだ各小學校兒童の求職希望者に就いて性能試験をなしたが求職兒童は男百六、女四十、計百四十六名で求職別を擧ぐれば男は鐵道方面が十六名、郵便局六名、商店方面が七名その他大多數は技術方面で鐵工と電工との志望者が多く就中内郷村、湯本町等よりの申込者は殆ど全部をそれである女子は女中奉公志望者が二名の外は看護婦見習ひが多



今晩は北東の風雨模様明日は晴れたり曇つたりで寒くなる見込みです

- 前七、〇〇 ラヂオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、一〇 料理献立
- スノーエッグス
- 二クリ
- 一ム 松本嘉一發表
- 前二、〇〇 講演「我國藝界の恩人としての大隈老公」堀切參郎
- 正午 時報
- 午後、〇五 獨唱 清水金太郎 清水静子 ビアノ
- 河部万次郎

- 後〇、四〇 ニュース
- 氣象通報 告知事項
- 後三、四〇 氣象通報
- 後四、〇〇 ニュース
- 後四、〇五
- 後五、〇五 角力中繼「東京大角力春場所」(三日目)(國技館より中繼)
- 後六、〇〇 (子供の時間) 童話劇「空の旅」BKコード
- モカークル
- 後六、三〇 文藝講座「名

- 作のグリムプス
- 後七、〇〇 全國ニュース
- 氣象通報 番組預告 告知事項
- 後七、二五 趣味講座「どりの三番隻に就て」九重左近
- 後八、〇〇 入營狀況「今日から軍人」放送指揮陸軍省新聞班砲兵大尉淺野一男 歩兵大尉野津敏陸軍戸山學校音樂隊 他に歩兵下士卒等
- 後九、〇〇 連續講談「笹野權三郎」(第三席) 大島伯鶴
- 後九、四〇 時報 氣象通報 全國ニュース 番組預告 告知事項

六人の子供を抱へ 夫婦共に病む

同潤會が無料で診療

平町六丁目下駄職鈴木作次(三)は妻が重病で寝て居る折柄木材を足の甲に落して怪俄を爲し十五を頭に六人の子供を抱へて其日の生活村病院に入院せしめた

街上に打臥し 動かぬ泥酔畫家

平署員が嚴重に説諭

郡山市金堂生れ畫家齋藤四郎(四)は八日午前十時頃泥酔して四丁目街路に打臥し動かぬので平署員が嚴重説諭して立のかしめた

坑内で盗む

休憩中に

石城郡内郷村大字宮澤居住石川郡小橋村生れ坑夫小木政一(三)は舊臘十六日午後四時頃同村高坂坑の作業歸

盗品を買ふ

値切り倒して

平町材木町古物商横田平藏(五)は舊臘中千葉縣千葉市前科三犯白井德藏(三)が石城郡四倉町新町長谷川寅次郎所有艦船發動機々械其他器具類價格三百九十一圓の

心中の恐れ

元日に駈落

東京府吾嬭町請地源太郎長岡秀雄(二)は向島寺島猪狩キョエ(三)と共に元旦の朝駈落した處日頃平町に行くこと云つて居た由にて心中の懼れがあると本日平署に捜索方願出た

キングパスト

理想的耐水耐熱接合劑
●水が微温湯で溶せばすぐ使へる簡単な膠着劑
●一名コナニカワ

小野屋藥店

電話一四四番

創作小説

捕物覺え

東京橋場鮎刺 (米田安藏)

「御免なさいませ」

「いや、いや、女の癖が、三河屋安藏の家の障子越しに覗いた。夫は小鬚の初冬の、暗い日の晝過ぎである。

「ハア何方……」
長火鉢の前で、なげまわしなが、ノソノソと立つて上りの障子を覗いたのは、手先の徳松なのである。

「御免なさいませ」
「いや、いや、女の癖が、三河屋安藏の家の障子越しに覗いた。夫は小鬚の初冬の、暗い日の晝過ぎである。

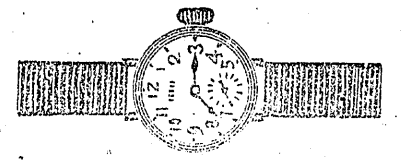


「御免なさいませ」
「いや、いや、女の癖が、三河屋安藏の家の障子越しに覗いた。夫は小鬚の初冬の、暗い日の晝過ぎである。

「御免なさいませ」
「いや、いや、女の癖が、三河屋安藏の家の障子越しに覗いた。夫は小鬚の初冬の、暗い日の晝過ぎである。

「御免なさいませ」
「いや、いや、女の癖が、三河屋安藏の家の障子越しに覗いた。夫は小鬚の初冬の、暗い日の晝過ぎである。

て總は命用御の物刷印
番〇三六話電 印刷日每警常



時計の御用命

「は、今評判の山崎に、深刻な不景気の折柄買入人の身になつて良い品を特價にて提供致します。修繕物は特に叮嚀迅速破額を以て御用に應じます。親切な店 堅い店
山崎時計専門店
(五丁目新川町通り)
(吉田屋染物店前)

耳鼻咽喉科専門
場所 舊診療所裏通り
合津醫院
平町仲田町 電話五五九

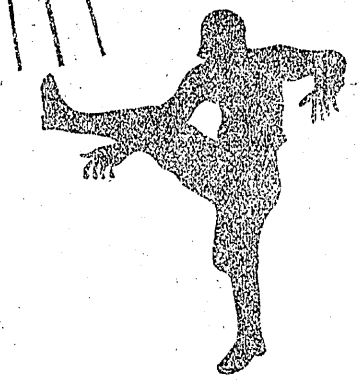
花柳病科専門
木村外科醫院
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

江戸前料理
江戶 天ふら 天井
趣味の 天井
ゼヒ一度御試食下さい……
出前迅速 錦水
田町末廣東隣り (電話四二一番)

看護婦急派
の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

五圓均一革靴(修繕自由)
赤短靴編上靴デモ
國民舉ツテ 節約ハ足下カラ
緊縮ノ秋 節約ハ足下カラ
平町南町
電話三〇七番

五圓均一革靴(修繕自由)
赤短靴編上靴デモ
國民舉ツテ 節約ハ足下カラ
緊縮ノ秋 節約ハ足下カラ
平町南町
電話三〇七番



内ルビモトルマ平
約特靴だよち
店靴地菊

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
代理店 **西村屋藥舖**
平町二丁目「電三」

平新川町十九
木村病院
電話一六四番
産婦人科 院長 木村寅次郎
女醫 木村 コウ
内臓外科 醫學士 松永 憲一
整形外科 醫學士 萩原 駿二
藥局 東京藥學士 萩原 駿二

江戸前 季節 鳥料理
前戸 寄 かな べ
相始めました。皆様の御來駕をお待ちします
平館隣り
魚 榮
電話 四二四番